

令和4年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	国語	グループ名	2 類型A	
ねらい	(1)日常生活や社会生活に必要な基礎的な言語理解を深める。 (2)身近な人と関りながら、自分の意思を伝えられる、自分に合ったコミュニケーションの力を身に付ける。 (3)コミュニケーションに必要な語彙を増やし、言語活動の幅を広げようとする態度を養う。			
担当教員	○関口由羅			
年間授業時数	84 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
通年	日常生活や社会生活に必要な言葉 図書室の利用	28	○身近な言葉と文字（文字につながる形、平仮名、片仮名、漢字）のマッチング、模写、書写、書字 ◆身近な言葉を理解し、イラストや文字カードなどと一致できる。 ◆身近な言葉を理解し、なぞり書き、書写、書字できる。 □生徒の実態、課題に合わせて個別に支援、指導する。 ○単語、短文、ショートストーリーの読み聞かせ ◆単語や短文を聞き取る。 ◆聞いた内容や絵などによる表現を理解し、楽しむ。 □生徒の実態、課題に合わせて個別に支援、指導する。 ○図書室の利用方法 ◆図書室の利用方法を知る。 ◆自分で興味関心のある本を選ぶことができ、落ち着いて読める。 □生徒の実態、課題に合わせて個別に支援、指導する。	
4 5 6	自己紹介や挨拶をしよう	16	○自己紹介 ◆名前や好きな事を絵や文字カード、言語で表すことができる。 ◆挨拶を表す言葉を理解する。 ◆カード等を用いて自分の気持ちを表したり、伝えたりすることができる。 □生徒の実態、課題に合わせて個別に支援、指導する。	
7 9 10 11	生活に必要な言葉	16	○日常生活で使う言葉 ◆身近な言葉を理解し、文字と一致させ、日常生活の中で活用しようとする事ができる。 ○社会生活で使う言葉 ◆インターンシップや現場実習に関連した言葉を理解し、文字と一致できる。 ◆学習した言葉や表現を社会生活の中で使おうとすることができる。 □視聴覚教材を有効に取り入れる。	
11 12 1	手紙を書こう 書写	16	○手紙の書き方 ◆お礼状や年賀状の書き方を知り、書く。 ○ペンや毛筆を使った書写 ◆ペンや毛筆での表現を体験する。 ◆和紙に自分で選んだ文字を書くことができる。 □体験活動を取り入れる。	
2 3	まとめ	8	○まとめ・年間の学習の振り返り ◆1年間の出来事を思い出し、絵や文字カード、言語で表現する。 □生徒の実態、課題に合わせて個別に支援、指導する。	

令和4年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	国語	グループ名	2類型BC	
ねらい	(1) 日常生活や社会生活に必要な基礎的な言語理解を深める。 (2) 他者との関わりの中で自分の気持ちを適切な言葉で表現する力を身に付ける。 (3) コミュニケーションに必要な語彙を増やし、言語活動の幅を広げようとする態度を養う。			
担当教員	○家納 汀 ○秀島 直良			
年間授業時数	84 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
通 年	日常生活に必要な言葉 図書室の利用	25	○身近な言葉と文字（平仮名、片仮名、漢字）の模写、書字 ◆身近な言葉を理解し、書写、書字できる。 □生徒の実態に合わせて課題を設定する。 ○図書室の利用方法 ◆自分で興味関心のある本を選ぶことができる。 □生徒の実態、課題に合わせて個別に支援、指導する。	
4	自己紹介をしよう	3	○自己紹介 ◆自分の名前や誕生日、好きなことなどを文章で表すことができる。 ◆拗音や撥音などに気を付けながら、自己紹介をすることができる。 ◆友達の自己紹介を聞き、内容を聞き取ることができる。 □生徒の実態、課題に合わせて個別に支援、指導する。	
5 6 7 9	文字を読もう 文字を書こう 社会生活に必要な言葉	24	○平仮名、片仮名、漢字の読みと書き取り ◆文字を読めるようになるとともに、はっきりとした発音で話せるようになる。 ○文字やカルタを使ってのマッチング ○身近な単語を用いた文字、名前、単語のなぞり書き ◆自分の名前、教科名等を書けるようになる。 ◆絵カードや、文字カードを正しく並べる。 □語彙を増やせるよう、様々な場面で用いられる言葉を選ぶ。 ○社会生活で使う言葉 ◆丁寧な言葉遣いを知り、文字で書き表したり、実際に音読したりすることができる。 ◆状況や相手に応じて、言葉を使い分けることができる。	
10 11 12	お礼状を書こう 文章理解① 文章表現① 日記、手紙 詩、俳句	19	○お礼状の作成 ◆お礼状の書き方を知り、実際に体験する。 ◆言葉遣いや漢字に気を付けながら、丁寧に模写をすることができる。 □視聴覚教材を有効に取り入れる。 ○読書活動（絵本等） ◆見たり聞いたりして、内容を理解して楽しむ。 ○自分の気持ちや事実を言葉で表そう ◆言葉の内容を理解し、動きを動作で表す。 □簡単な言葉で書かれた文章を用意する。 ○例文を使った質問	
1	書写	3	○書写 ◆自分で選択した文字を書くことができる。 □丁寧にゆっくり書くように繰り返し確認する。	
2 3	まとめ	10	○まとめ・年間の振り返り ◆1年間の出来事を思い出し、短文で書き表すことができる。 □生徒の実態に合わせてワークシートを作成する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	社会	グループ名	2 類型 A	
ねらい	(1)身近な地域を中心にした地理、文化や生活を知る。 (2)社会生活に必要な知識と技能を身に付け、自分の考えを伝える力を養う。 (3)日本の伝統文化を知り、伝統を大切であるという自覚を養う。			
担当教員	○家納汀			
年間授業時数	18 単位時間			
使用教科書	見て、学んで、力がつく！こども日本地図（永岡書店）			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	日本の国土の様子と国民生活や歴史 自然環境 産業と生活	9	○日本の国土、生活、歴史について ◆日本国土の特徴を知る。 ◆日本国内の地域によつての生活様式を知る。 ◆日本の歴史について、概要を知る。 □ICT機器を利用して、視覚的に分かりやすいようにする。 □興味・関心を引き出しやすい題材を用意する。	
6	外国の様子	4	○外国の様子を知ろう ◆過去にオリンピック・パラリンピックを開催した国や都市について学び、理解を深める。日本との生活の違いについて気付く。 □ICT機器を利用して、視覚的に分かりやすいようにする。 □興味・関心を引き出しやすい題材を用意する。	
7 9	社会参加と決まり 主権者教育 公共施設と役割	5	○選挙の仕組み、投票のやり方 ◆選挙についての仕組みを知り、自分の役割・責任を示すことについて ◆具体的な投票の方法を知る。 □具体物を利用しながら、ロールプレイを行うことで具体的な選挙の方法への理解を深める。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	社会	グループ名	2類型BC	
ねらい	(1)身近な地域を中心にした地理、文化や生活を知る。 (2)社会生活に必要な知識と技能を身に付け、自分の考えを伝える力を養う。 (3)日本の伝統文化を知り、伝統を大切であるという自覚を養う。			
担当教員	○高橋義弘 ○村越幸子			
年間授業時数	18 単位時間			
使用教科書	くらしに役立つ社会（東洋館出版社）、 見て、学んで、力がつく！こども日本地図（永岡書店）			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	日本の国土の様子と国民生活や歴史 自然環境 産業と生活	9	○日本の国土、生活、歴史について ◆日本国土の特徴を知る。 ◆日本国内の地域によっての生活様式を知る。 ◆日本の歴史について、概要を知る。 □ICT機器を利用して、視覚的に分かりやすいようにする。 □興味・関心を引き出しやすい題材を用意する。	
6	外国の様子	4	○外国の様子を知ろう ◆過去にオリンピック・パラリンピックを開催した国や都市について学び、理解を深める。日本との生活の違いについて気付く。 □ICT機器を利用して、視覚的に分かりやすいようにする。 □興味・関心を引き出しやすい題材を用意する。	
7 9	社会参加と決まり 主権者教育 公共施設と役割	5	○選挙の仕組み、投票のやり方 ◆選挙についての仕組みを知り、自分の役割・責任を示すことについて ◆具体的な投票の方法を知る。 □具体物を利用しながら、ロールプレイを行うことで具体的な選挙の方法への理解を深める。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年
教科等名	数学	グループ名	2 類型 A
ねらい	(1) 数や図形などについての基礎的な概念や性質を理解し、数学的に解釈したり処理したりする技能を身に付ける。 (2) 日常の事象を数理的に捉え、数学的な表現を用いて簡潔に表現する力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさに気付き、数学的に処理したり判断したりして、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。		
担当教員	○関口由羅		
年間授業時数	59.5 単位時間		
使用教科書	ゆっくりさんすうプリント 10 までのかず(小学館)		
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫 備考
4 5	数	10	○身近な数量 ◆個数を正しく数える、書き表す ◆数の順序、位置を数で表す □ICT機器を活用し、生徒が視覚的に理解できるように支援する。
6 7	数と計算	20	○身近な数 ◆20までを数唱する。 ◆1位数と1位数を加法する。 □ICT機器を活用し、生徒が視覚的に理解できるように支援する。 □生徒の学習状況の実態を確認し、実態応じて個別課題などを用意したり、STと個別指導したりして、学習を進める。
9	図形	10	○身近な図形 ◆名称「丸・三角・四角」を理解する。 ◆縦線・横線・△・□を描く。 □ICT機器を活用し、生徒が視覚的に理解できるように支援する。 □生徒の学習状況の実態を確認し、実態応じて個別課題などを用意したり、STと個別指導したりして、学習を進める。
10 11 12	図形	10	○身近な図形 ◆形の属性で分類・集める。 ◆身の回りにあるものを丸・三角・四角で分類・集める。 □ICT機器を活用し、生徒が視覚的に理解できるように支援する。 □生徒の学習状況の実態を確認し、実態応じて個別課題などを用意したり、STと個別指導したりして、学習を進める。
1 2 3	測定	10	○身近な量 ◆長さ、重さ、高さ、広さの量の大きさを測定する。 ◆長さ、重さ、高さを比較したり用語で表現する。 □具体物を用いながら、図形の特徴の違いを伝える。

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	数学	グループ名	2類型BC	
ねらい	(1) 数や図形などについての基礎的な概念や性質を理解し、数学的に解釈したり処理したりする技能を身に付ける。 (2) 日常の事象を数理的に捉え、数学的な表現を用いて簡潔に表現する力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさに気付き、数学的に処理したり判断したりして、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
担当教員	○村越 幸子 ○中居 桂			
年間授業時数	59.5 単位時間			
使用教科書	ひとりだちするための算数・数学(日本教育研究出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	数と計算	16	数を使った加減算 ○教具を用いた加減算 ○電卓での計算 ◆日常の場面で計算が利用されていることに興味をもち、具体的な場面で活用ができる。 ◆日常生活の中の具体物を数えることができる。 ◆電卓で正しい数字や記号を入力することができる。 □それぞれの生徒に合った視覚支援を用意する。	
6 7	時間・暦	12	○時計の読み取り ○カレンダーを用いた日付・曜日の確認 ◆時刻と時間の概念を理解することができる。 ◆校外学習や修学旅行などの具体的な、時間や暦が分かり、時間の流れに沿った見通しがもてる。 □それぞれの生徒に合った視覚支援を用意する。	
9	図形 形・色・大きさ	8	○色・形の弁別 ○様々な色や形の中からの必要な情報の選択 ◆色・形の違いや、大小の違いが分かる。 ◆具体的な生活の場面でも色や形の違いを認識し、活用することができる。 □それぞれの生徒に合った視覚支援を用意する。	
10 11 12	金銭	13	○硬貨、紙幣の種類と分類 ○硬貨、紙幣の計算 ○買い物学習 ◆金銭について興味をもつ。 ◆金銭を用いた活動を行うことができる。 ◆校外学習に向けてや日常生活において、意識的に買い物をを行うことができる。 □具体物を用いて分かりやすくする。	
1 2 3	量・長さ	10.5	○長さや重さの比較 ◆長さや重さの概念に気付くことができる。 ◆具体物の長さや重さ・量を比較することができる。 □具体物を用いて分かりやすくする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	理科	グループ名	2 類型A	
ねらい	(1)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、解決の方法を考える力と、より妥当な考えを作り出す力を養う。 (3)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。			
担当教員	○家納汀			
年間授業時数	17 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
10 11	地球・自然	6	○天気の変化 ◆四季の天気を知る。天気の観察をする。 ◆天気の変化の指標となるものを知り、活用する。 （雲の動き、気温、風などを記録する。） □視覚的に分かりやすい教材を使用する。 ○電流の働きについて	
12 1	物質・エネルギー	6	○物質の溶け方 ◆物質が水にどのように溶けるか観察する。 水に溶けるもの、溶けないものがあることを知る。 ◆物質が水に溶けるとどのような変化があるか知る。 （色、味、重さなど） □実験器具などの取り扱いに留意する。	
2 3	生命	5	○植物の発芽、成長、結実 ◆植物の発芽を観察し、成長による変化を知る。 ◆花のつくりを観察して、理解を深める。 □図鑑、模型、動画などの視覚的教材を活用する。 ○動物の発生や成長	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	理科	グループ名	2 類型 B C	
ねらい	(1)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、解決の方法を考える力と、より妥当な考えを作り出す力を養う。 (3)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。			
担当教員	○高橋義弘 ○村越幸子			
年間授業時数	17 単位時間			
使用教科書	くらしに役立つ理科（東洋館出版社）			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
10 11	地球・自然	6	○天気の変化 ◆四季の天気を知る。天気の観察をする。 ◆天気の変化の指標となるものを知り、活用する。 （雲の動き、気温、風などを記録する。） □視覚的に分かりやすい教材を使用する。	
12 1	物質・エネルギー	6	○物質の溶け方 ◆物質が水にどのように溶けるか観察する。 水に溶けるもの、溶けないものがあることを知る。 ◆物質が水に溶けるとどのような変化があるか知る。 （色、味、重さなど） □実験器具などの取り扱いに留意する。 ○電流の働きについて	
2 3	生命	5	○植物の発芽、成長、結実 ◆植物の発芽を観察し、成長による変化を知る。 ◆花のつくりを観察して、理解を深める。 □図鑑、模型、動画などの視覚的教材を活用する。 ○動物の発生や成長	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	音楽	グループ名	2 類型 A	
ねらい	(1) 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 曲の雰囲気や楽器に音色の変化を感じ取りながら聴く。 (3) 様々な音楽について興味・関心をもち、豊かな情操を培う。			
担当教員	○矢部 絵里香			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	MY SONG 6 訂版 (教育芸術社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	鑑賞 歌唱	15	○鑑賞「校歌」「日本の音楽」 ◆曲の良さを見だし、響きを味わって聴く。 □響きやポイントなど示したい部分に意識が向くよう言葉かけをする。 ○歌唱 ◆呼吸や発音に気を付けて、歌詞を丁寧に歌う。 □歌詞カードや映像など視覚的な教材を用意する。	
6 7	鑑賞 器楽	15	○鑑賞「日本郷土の音楽」 ◆楽器の種類や演奏方法を知り、正しい音の出し方を知る。 □イメージをもちやすくするために手本や視覚的な教材を用意する。 ○器楽「器楽合奏」 ◆曲に合わせて簡単なリズム打ちができる。 □個別練習の時間を確保し個別に難しい部分を確認しながら指導する。	
9	身体表現	5	○身体表現「リズムに合わせて身体を動かそう」 ◆曲の速度やリズムに合わせて表現できる。 □身体の動きが分かりやすいように提示する。	
10	歌唱 器楽	5	○歌唱「季節の歌」 ◆季節を感じながら歌を覚える。 □歌詞の内容と季節を結び付けながら丁寧な説明を行う。 ○器楽 ◆教員の合図に合わせて音を出す。 □生徒の実態に合わせた楽譜の作成を行う。	
11 12	創作活動	10	○創作活動「リズム創作」 ◆簡単なリズムを組み合わせてオリジナルのリズムを創作することができる。曲の速度やリズムに合わせて表現できる。 □野菜などの名前をリズムと結び付けて、理解が深まるようにする。	
1 2 3	歌唱 鑑賞	20	○歌唱「君が代」「卒業式の歌」「Believe」「そのままの君で」 ◆式典に向けて、国歌に親しむ。 ◆式典での歌唱時のマナーを意識する。 □国際的な式典の国家斉唱の映像を活用する。 ○鑑賞「様々なジャンルの音楽」	

		<p>◆音楽について興味関心の幅を広げる。</p> <p>□身近な音楽を題材に設定する。</p>	
--	--	--	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	音楽	グループ名	2類型 BC	
ねらい	(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 曲の雰囲気や楽器に音色の変化を感じ取りながら聴く。 (3) 様々な音楽について興味・関心をもち、豊かな情操を培う。			
担当教員	○大出 彩乃			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	2類 MY SONG (教育芸術社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	鑑賞 歌唱	15	○鑑賞「日本の音楽」 ◆曲の良さを見だし、響きを味わって聴く。 □響きやポイントなど示したい部分に意識が向くよう言葉かけをする。 ○歌唱「校歌」 ◆呼吸や発音に気を付けて、歌詞を丁寧に歌う。 □歌詞カードや映像など視覚的な教材を用意する。	
6 7	鑑賞 器楽	15	○鑑賞「日本郷土の音楽」 ◆楽器の種類や演奏方法を知り、正しい音の出し方を知る。 □イメージをもちやすくするために手本や視覚的な教材を用意する。 ○器楽「器楽合奏」 ◆曲に合わせて簡単なリズム打ちができる。 □個別練習の時間を確保し個別に難しい部分を確認しながら指導する。	
9	身体表現	5	○身体表現「リズムに合わせて身体を動かそう」 ◆曲の速度やリズムに合わせて表現できる。 □身体の動きが分かりやすいように提示する。	
10	歌唱 器楽	5	○歌唱「季節の歌」 ◆季節を感じながら歌を覚える。 □歌詞の内容と季節を結び付けながら丁寧な説明を行う。 ○器楽 ◆教員の合図に合わせて音を出す。 □生徒の実態に合わせた楽譜の作成を行う。	
11 12	身体表現	10	○創作活動「リズム創作」 ◆簡単なリズムを組み合わせてオリジナルのリズムを創作することができる。曲の速度やリズムに合わせて表現できる。 □身近な言葉をリズムと結び付けて、理解が深まるようにする。	
1 2 3	歌唱	20	○歌唱「君が代」「卒業式の歌」「Believe」「そのままの君で」 ◆式典に向けて、国歌に親しむ。 ◆式典での歌唱時のマナーを意識する。	

	鑑賞	<input type="checkbox"/> 国際的な式典の国家斉唱の映像を活用する。 <input type="checkbox"/> 鑑賞「様々なジャンルの音楽」 <input checked="" type="checkbox"/> 音楽について興味関心の幅を広げる。 <input type="checkbox"/> 身近な音楽を題材に設定する。	
--	----	--	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第2学年
教科等名	美術		グループ名	2 類型A
ねらい	(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。			
担当教員	○室屋めぐみ			
年間授業時数	59.5 単位時間			
使用教科書	ファインアート 新造形と美術 表現・鑑賞 (浜島書店)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	平面表現	12	○モダンテクニック等を使用した制作 ◆これまで経験してきた様々な技法を使い、意図に応じた表現方法を自分なりに工夫する。 ◆色を選んだり、自身の意図に応じて表現方法を変えたりする。 □手順を細分化し、一工程ずつ確認しながら取り組むことで、授業の流れや制作物への意識をもちやすくする。	
6 7	立体造形①	12	○オブジェ制作 ◆木材の端切れ等の積み上げ方を工夫し、造形的な良さや美しさを追求する。 □使用する道具や素材を使つての試作を事前に行い、見通しをもって制作に取り組めるようにする。	
9	立体造形②	6	○粘土による造形 ◆粘土素材の感触を感じて制作する。 ◆粘土をこねたり広げたりしてできる形を楽しむ。 □使用する道具や素材を使つての試作を事前に行い、見通しをもって制作に取り組めるようにする。	
10	日本の芸術	6	○墨を使った制作 ◆含水量によって変化する墨の色合いを楽しむ。 ◆美術文化に対する理解を深める。 □様々な技法を事前に練習し、表現の選択肢を広げる。	
11 12	羽ばたき祭 準備	12	○生徒会から依頼をうけて、掲示用の羽ばたき祭のスローガンを作る ◆共同制作を進める中で、意図に応じた表現の工夫を学ぶ。 ◆共同で制作する楽しさを感じる。 □使用する道具や環境の構造化を行い、自主的に制作に取り組めるようにする。	
1 2 3	卒業式の装 飾	11.5	○卒業式で使用する飾りを制作する ◆お祝いを意識した飾りを作り、意図に応じた表現方法を学ぶ。 ◆共同で制作する楽しさを感じる。 □使用する道具や環境の構造化を行い、自主的に制作に取り組めるようにする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第2学年
教科等名	美術		グループ名	2 類型 B C
ねらい	(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。			
担当教員	○室屋めぐみ			
年間授業時数	59.5 単位時間			
使用教科書	ファインアート 新造形と美術 表現・鑑賞 (浜島書店)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	平面表現①	12	○モダンテクニック等を使用した制作 ◆これまで経験してきた様々な技法を使い、意図に応じた表現方法を自分なりに工夫する。 ◆配色や使用する技法を、自身の意図やテーマに応じて工夫する。 □事前に道具の使用時のルールや技法についての確認を行う時間をとり、発想の足掛かりになるようにする。	
6 7	立体造形①	12	○オブジェ制作 ◆木材の端切れ等、身近にある素材の積み上げ方を工夫し、造形的な良さや美しさを追求する。 ◆使用する素材や道具の特徴を理解し、制作に取り入れる。 □使用する素材や道具について実際に触れて試行できる時間をとり、様々な表現を制作に取り入れやすくする。	
9	立体造形②	6	○粘土による造形 ◆粘土素材の感触を感じて制作する。 ◆粘土をこねたり広げたりしてできる形を楽しむ。 □使用する素材や道具について実際に触れて試行できる時間をとり、様々な表現を制作に取り入れやすくする。	
10	日本の芸術	6	○墨を使った制作 ◆含水量によって変化する墨の色合いを感じ、制作する。 ◆美術文化に対する理解を深める。 ◆手の動きや力加減を工夫し、意図やテーマに応じて描線を変化させる。 □様々な技法を事前に練習し、表現の選択肢を広げる。	
11 12	羽ばたき祭 準備	12	○生徒会から依頼をうけて、掲示用の羽ばたき祭のスローガンを作る ◆共同制作を進める中で、意図に応じた表現の工夫を学ぶ。 ◆共同で制作する楽しさを感じる。 □使用する道具や環境の構造化を行い、自主的に制作に取り組めるようにする。	
1 2 3	卒業式の装 飾	11.5	○卒業式で使用する飾りを制作する ◆お祝いを意識した飾りを作り、意図に応じた表現方法を学ぶ。 ◆共同で制作する楽しさを感じる。	

		<input type="checkbox"/> 使用する道具や環境の構造化を行い、自主的に制作に取り組めるようにする。	
--	--	--	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	保健体育	グループ名	2 類型 A	
ねらい	<p>(1) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自己の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、考えたり判断したりする力を養う。</p> <p>(3) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして自主的に運動する態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。</p>			
担当教員	○繁田 愛楓			
年間授業時数	192.5 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
通 年	体づくり運 動	87.5	<p>○ラジオ体操、準備体操・歩行・朝の体育（ランニング等）・身体表現（ダンス的活動）</p> <p>◆決められた周回や時間を走る。</p> <p>◆取り組む内容を理解し、見通しをもって授業に参加する。</p> <p>◆音楽やリズムに合わせて、楽しく身体を動かすことができる。</p> <p>□タイマーや次第表などの視覚的支援を行いながら授業を行う。</p> <p>□リズムの取りやすい音楽やダンスを使用する。</p>	
4 5	集団行動	6	<p>○集団行動（姿勢、方向変換、体育座り、集合、歩行、整列（4列縦隊）、挨拶、礼等）、新体力テスト</p> <p>◆体育の授業の約束やきまりを覚え、見通しをもって活動に参加する。</p> <p>□写真や絵カード等の視覚的支援を行う。</p>	
	体力テスト	6	<p>○体力テスト</p> <p>◆自己の身体の動きや体力について知ることができる。</p> <p>□写真や絵カード等の視覚的支援を行う。</p> <p>□体力テストで行う種目を手本や写真カードを使用しながら、理解できるようにする。</p>	
6 7 9	器械運動	10	<p>○マット運動</p> <p>◆実態に適した課題に挑戦し、技ができる楽しさや喜びを味わう。</p> <p>□グループ分けを行いながら実態に応じた支援を行う。</p> <p>◆様々な体の動かし方を学ぶとともに、首の入れ方や手のつき方などを確認し、自分の獲得した技を発表する。</p>	

	水泳	12	<input type="checkbox"/> 繰り返し行うことや怪我をしやすい身体の動かし方などを視覚的に提示する。 <input type="checkbox"/> 水慣れ、バタ足、蹴伸び等 <input checked="" type="checkbox"/> 水中に慣れ、安全に活動ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 安全な方法で、水に浮くことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 一定時間、決められた方法で水中を進むことができる。 <input type="checkbox"/> 浮き具等を用意し、安全に行えるようにする。 <input type="checkbox"/> 個々の能力に応じたグループ分けを行う。
9	武道	7	<input type="checkbox"/> 柔道 <input checked="" type="checkbox"/> 道具の使い方を知る。 <input checked="" type="checkbox"/> 礼儀作法を身につける。 <input type="checkbox"/> 手本や写真カードなどの視覚的支援を行う。
	保健	1	<input type="checkbox"/> 衛生 <input checked="" type="checkbox"/> きれいな手の洗い方を知る。 <input type="checkbox"/> ICT機器を活用し、生徒が視覚的に理解しやすいようにする。
10 11 12	陸上競技	20	<input type="checkbox"/> ハードル走 <input checked="" type="checkbox"/> 走りながらハードルを跳ぶことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 片足でリズムよくハードルを跳び越せる。 <input type="checkbox"/> 教員が手本を見せた後、教員と一緒に繰り返し行う。 <input type="checkbox"/> 段階を合わせてグループを分けて活動を行う。
	球技	20	<input type="checkbox"/> ワンベース <input checked="" type="checkbox"/> ボールをよく見て蹴ったり捕ったりすることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ルールを理解することができる。 <input type="checkbox"/> 蹴る、捕る、走るなど部分練習を繰り返し行う。 <input type="checkbox"/> 写真や絵カードなど視覚的支援を行う。
1 2 3	陸上競技	13	<input type="checkbox"/> 長距離走 <input checked="" type="checkbox"/> 決まった時間・距離を自分のペースで走りきれるようになる。 <input type="checkbox"/> 個々の能力に合わせてタイマーや磁石などの教材を使用し、見通しをもちやすくする。
	ボッチャ	10	<input type="checkbox"/> 基本技能（転がす・投げる） <input checked="" type="checkbox"/> 基本的な技能を身に付け、仲間と協力して取り組むことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ルールを理解し、活動することができる。 <input type="checkbox"/> 写真や絵カードなど視覚的支援を行う。

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第2学年
教科等名	保健体育		グループ名	2 類型 B C
ねらい	<p>(1) 各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 各種の運動における多様な経験を通して、ルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。</p>			
担当教員	○松田 豊貴			
年間授業時数	192.5 単位時間			
使用教科書	新しい保健体育（東京書籍）			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
通 年	体づくり運動	87.5	<p>○ラジオ体操、準備体操・歩行・朝の体育（ランニング等）・身体表現（ダンス的活動）</p> <p>◆決められた周回や時間を走る。</p> <p>◆取り組む内容を理解し、見通しをもって授業に参加する。</p> <p>◆音楽やリズムに合わせて、楽しく身体を動かすことができる。</p> <p>□タイマーや次第表などの視覚的支援を行いながら授業を行う。</p> <p>□リズムの取りやすい音楽やダンスを使用する。</p>	
4 5	集団行動	6	<p>○集団行動（姿勢、方向変換、体育座り、集合、歩行、整列(4列縦隊)、挨拶、礼等)、新体力テスト</p> <p>◆体育の授業の約束やきまりを覚え、見通しをもって活動に参加する。</p> <p>□写真や絵カード等の視覚的支援を行う。</p>	
	体力テスト	6	<p>○体力テスト</p> <p>◆自己の身体の動きや体力について知ることができる。</p> <p>□写真や絵カード等の視覚的支援を行う。</p> <p>□体力テストで行う種目を手本や写真カードを使用しながら、理解できるようにする。</p>	
6 7 9	器械運動	10	<p>○マット運動</p> <p>◆実態に適した課題に挑戦し、技ができる楽しさや喜びを味わう。</p> <p>□グループ分けを行いながら実態に応じた支援を行う。</p> <p>◆様々な体の動かし方を学ぶとともに、首の入れ方や手のつき方などを確認し、自分の獲得した技を発表する。</p> <p>□繰り返し行うことや怪我をしやすい身体の動かし方などを視覚的に提示する。</p>	

	水泳	12	<p>○水慣れ、バタ足、蹴伸び等</p> <p>◆水中に慣れ、安全に活動ができる。</p> <p>◆安全な方法で、水に浮くことができる。</p> <p>◆一定時間、決められた方法で水中を進むことができる。</p> <p>□浮き具等を用意し、安全に行えるようにする。</p> <p>□個々の能力に応じたグループ分けを行う。</p>	
9	武道	7	<p>○柔道</p> <p>◆道具の使い方を知る。</p> <p>◆礼儀作法を身につける。</p> <p>□手本や写真カードなどの視覚的支援を行う。</p>	
	保健	1	<p>○衛生</p> <p>◆きれいな手の洗い方を知る。</p> <p>□ICT機器を活用し、生徒が視覚的に理解しやすいようにする。</p>	
10 11 12	陸上競技	20	<p>○ハードル走</p> <p>◆走りながらハードルを跳ぶことができる。</p> <p>◆片足でリズムよくハードルを跳び越せる。</p> <p>□教員が手本を見せた後、教員と一緒に繰り返し行う。</p> <p>□段階を合わせてグループを分けて活動を行う。</p>	
	球技	20	<p>○ワンベース</p> <p>◆ボールをよく見て蹴ったり捕ったりすることができる。</p> <p>◆ルールを理解することができる。</p> <p>□蹴る、捕る、走るなど部分練習を繰り返し行う。</p> <p>□写真や絵カードなど視覚的支援を行う。</p>	
1 2 3	陸上競技	13	<p>○長距離走</p> <p>◆決まった時間・距離を自分のペースで走りきれるようになる。</p> <p>□個々の能力に合わせてタイマーや磁石などの教材を使用し、見通しをもちやすくする。</p>	
	ボッチャ	10	<p>○基本技能（転がす・投げる）</p> <p>◆基本的な技能を身に付け、仲間と協力して取り組むことができる。</p> <p>◆ルールを理解し、活動することができる。</p> <p>□写真や絵カードなど視覚的支援を行う。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	高等部2年生
教科等名	職業		グループ名	2 類型A
ねらい	(1) 勤労の意義を理解し、職業生活に必要な基本的知識及び技能を身に付ける。 (2) 社会人として必要なルールやマナーを知り、表現する力を養う。 (3) インターンシップや現場実習を通して、将来の生活や自分の進路に向けて実践的な態度を養う。			
担当教員	○ 恵 勇太			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
通年	仕事をする姿勢や態度	9	<input type="checkbox"/> 挨拶 ◆場面や状況に適した挨拶をすることができる。 <input type="checkbox"/> ロールプレイを利用し、体験的に行う。 <input type="checkbox"/> 身だしなみ ◆衛生的な身だしなみを意識して、自ら整えることができる。 <input type="checkbox"/> ICT機器を利用したり、ロールプレイをしたりする。	
4	オリエンテーション	1	○2年生の年間授業予定、インターンシップの概要	
5	働く場所	3	<input type="checkbox"/> 働く場所 ◆就労継続B型、生活介護、就労移行、企業就労について学ぶ。 <input type="checkbox"/> ICT機器を利用する。	
6	働く目的	4	<input type="checkbox"/> 働く目的 ◆働く意義や目的について考える。 <input type="checkbox"/> ICT機器やプリントを利用する。 <input type="checkbox"/> 様々な仕事、顧客意識、品質意識、納品、分業・分担、など ◆働くうえで必要となる知識や事柄に気付く <input type="checkbox"/> ワークシートを利用する。	
7		4	<input type="checkbox"/> 働く目的 ◆働く意義や目的について考える。 <input type="checkbox"/> ICT機器やプリントを利用する。 <input type="checkbox"/> 様々な仕事、顧客意識、品質意識、納品、分業・分担、など ◆働くうえで必要となる知識や事柄に気付く <input type="checkbox"/> ワークシートを利用する。	
9	働く目的2	4	<input type="checkbox"/> 分業・分担、などを知る。 ◆働くうえで必要となる知識や事柄に気付く <input type="checkbox"/> 体験的な取り組みを行う。	
10	給与・工賃の仕組み	2	○給与（工賃）	
11		4	<input type="checkbox"/> お金をもらう仕組みを考える。 <input type="checkbox"/> 体験的に取り組む。	
12		4	<input type="checkbox"/> 暮らす場所 ◆卒業後、家で暮らす、グループホーム、福祉サービス <input type="checkbox"/> ICT機器を利用する。	
1	趣味・余暇について 将来について考える 実習先につ	2	○いろいろな趣味・余暇の過ごし方	
2		2	<input type="checkbox"/> 自分の趣味（外出、ヘルパー利用） <input type="checkbox"/> ICT機器やプリントを利用する。	
2		2	<input type="checkbox"/> 相談する相手、相談の仕方 ◆「自分のこと」や「将来にこと」などを考える。	

3	いて 心の健康 3年生に向けて	1 1	<input type="checkbox"/> プリントを利用する。 <input type="checkbox"/> インターンシップ・実習の振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 私の実習先、先輩の実習先について知る。 <input type="checkbox"/> ICT機器を利用する。 <input type="checkbox"/> ストレスについて理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> ストレス発散方法について知る。 <input type="checkbox"/> プリント教材を利用する。 <input type="checkbox"/> 2年次のまとめ、3年次の予告、スケジュール確認 <input checked="" type="checkbox"/> 2年次の進路行事から課題を振り返り、3年生就職活動に向け見直しをもつ。 <input type="checkbox"/> プリント教材を利用する。	
---	-----------------------	------------	---	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	高等部2年生
教科等名	職業		グループ名	2 類型BC
ねらい	(1) 勤労の意義を理解し、職業生活に必要な基本的知識及び技能を身に付ける。 (2) 社会人として必要なルールやマナーを知り、表現する力を養う。 (3) インターンシップや現場実習を通して、将来の生活や自分の進路に向けて、実践的な態度を養う。			
担当教員	神 圭一郎			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	ひとりだちするためのビジネスマナー&コミュニケーション (日本教育研究出版社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
通 年	仕事をする 姿勢や態度	9	○挨拶 ◆場面や状況に適した挨拶をすることができる。 □ロールプレイを利用し、体験的に行う。 ○身だしなみ ◆衛生的な身だしなみを意識して、自ら整えることができる。 □ICT機器を利用したり、ロールプレイをしたりする。	
4	オリエンテ ーション	1	○2年生の年間授業予定、インターンシップの概要	
5	働く人	3	○働く人・働く場所 ◆働く人や働く場所について学ぶ。 □ICT機器を利用する。	
6 7	働く意義	4	○働く意義 ◆働く意義や目的について考える。 □ICT機器やプリントを利用する。 ○様々な仕事、顧客意識、品質意識、納品、分業・分担、など ◆働くうえで必要となる知識や事柄に気付く □ワークシートを利用する。	
9	働く意義	4	○分業・分担、などを知る。 ◆働くうえで必要となる知識や事柄に気付く □体験的な取り組みを行う。	
10 11 12	給与・工賃の 仕組み	2 4	○給与(工賃) ◆お金をもらう仕組みを考える。 □体験的に取り組む。 ○暮らす場所 ◆卒業後、家で暮らす、グループホーム、福祉サービス □ICT機器を利用する。	
1	趣味・余暇に ついて 将来につい て考える	2 2	○いろいろな趣味・余暇の過ごし方 ◆自分の趣味(外出、ヘルパー利用) □ICT機器やプリントを利用する。 ○相談する相手、相談の仕方	

2	実習先について	2	<ul style="list-style-type: none"> ◆「自分のこと」や「将来のこと」などを考える。 □プリントを利用する。 	
3	心の健康 3年生に向けて	1 1	<ul style="list-style-type: none"> ○インターンシップ・実習の振り返り ◆私の実習先、先輩の実習先について知る。 □ICT機器を利用する。 ○ストレスについて理解する。 ◆ストレス発散方法について知る。 □プリント教材を利用する。 ○2年次のまとめ、3年次の予告、スケジュール確認 ◆2年次の進路行事から課題を振り返り、3年生就職活動に向け見通しをもつ。 □プリント教材を利用する。 	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	家庭	グループ名	2 類型A	
ねらい	(1) 自立した生活を目指して、衣食住、家族・家庭、消費や環境について基礎的な理解を深め、それらに係る技能を身に付ける。 (2) 日常生活の中から問題を見つけ、解決策を考えたり、解決に向けて行動したりする。 (3) より良い生活の実現に向けて、生活を工夫し、考えようとする。			
担当教員	○河村 歩実			
年間授業時数	59.5単位時間			
使用教科書	家庭科の教科書 小学校低学年～高学年用(山と溪谷社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	日常食の調理	12.1	○日常食の調理 ◆簡単な朝食作りができる。 ◆調理室の正しい使い方が分かる。 □教員と一緒に手を動かしながら体験実習をする。	
6 7	衣服の手入れ 小物の制作	5.1 11.9	○衣服の手入れ ◆洗濯の仕方(洗う、干す、たたむ)を理解し実践できる。 ◆衣服の材料や状況に応じた手入れができる。 ○基礎的な縫い方 ◆基礎縫いの方法を理解し、活用する。 □ポイントを箇条書きで提示し、確認しながら取り組めるようにする。	
9 10	ミシンを使った小物の製作	3.2	○製作 ◆製作に関心を持ち、大まかな工程を理解する。 ◆基本的な用具の扱い方を知り、製作する。 □教員と一緒に手を動かしながら体験実習をする。	
11 12	郷土料理 日常食の調理	11.9	○郷土料理 ○日常食の調理 ◆地域の郷土料理を知る。 ◆三大栄養素の働きを理解する。 ◆基本的な調理用具の扱い方を知り、安全に調理する。	
1 2	家族の役割 季節と暮らし 日常食の調理	3.4 8.5	○家族の役割 ◆生活するために必要な家事を知り、家族の一員としてできることを考える □興味を引き出せるような体験的な活動を多く取り入れる。 ○季節にふさわしい衣服を知る。 ◆冬にふさわしい衣服を選ぶことができる。 □日常的に身近な具体物を提示し、イメージし易くする。 ○旬について知ろう。 ◆冬が旬の食べ物がわかる。	
3	消費生活	6.8	○環境に配慮した生活 ◆品質や環境についてのマークを知る。 □カードゲームを用いて興味が持ちやすいようにする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	家庭	グループ名	2 類型BC	
ねらい	(2) 自立した生活を目指して、衣食住、家族・家庭、消費や環境について基礎的な理解を深め、それらに係る技能を身に付ける。 (2) 日常生活の中から問題を見つけ、解決策を考えたり、解決に向けて行動したりする。 (3) より良い生活の実現に向けて、生活を工夫し、考えようとする。			
担当教員	渡邊 富士子			
年間授業時数	59.5単位時間			
使用教科書	家庭科の教科書 小学校低学年～高学年用(山と溪谷社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	日常食の調理	12.1	○日常食の調理 ◆簡単な朝食作りができる。 ◆調理室の正しい使い方が分かる。 □教員が見本を見せる。手順書を用意し確認しながら指導する。	
6 7	衣服の手入れ 小物の制作	5.1 11.9	○衣服の手入れ ◆洗濯の仕方(洗う、干す、たたむ)を実践できる。 ◆衣服の材料や状況に応じた手入れができる。 ○基礎的な縫い方 ◆基礎縫いの方法を理解し、活用する。 □ポイントを箇条書きで提示し、確認しながら取り組めるようにする。 ○製作 ◆製作に関心を持ち、大まかな工程を理解する。 ◆基本的な用具の扱い方を知り、製作する。 □教員が見本を見せる。手順書を用意し確認しながら指導する。	
9 10	ミシンを使った小物の製作	3.2	◆製作に関心を持ち、大まかな工程を理解する。 ◆基本的な用具の扱い方を知り、製作する。 □教員が見本を見せる。手順書を用意し確認しながら指導する。	
11 12	郷土料理	11.9	○郷土料理 ○日常食の調理 ◆地域の郷土料理を知る。 ◆三大栄養素の働きを理解する。 ◆基本的な調理用具の扱い方を知り、安全に調理する。	
1 2	家族の役割 季節と暮らし 日常食の調理	3.4 8.5	○家族の役割 ◆生活するために必要な家事を知り、家族の一員としてできることを考える □興味を引き出せるような体験的な活動を多く取り入れる。 ○季節にふさわしい衣服を知る。 ◆冬にふさわしい衣服を選ぶことができる。 □日常的に身近な具体物を提示し、イメージし易くする。 ○旬について知ろう。 ◆冬が旬の食べ物がわかる。	
3	消費生活	3.4	○環境に配慮した生活 ◆品質や環境についてのマークを知る。 □カードゲームを用いて興味が持ちやすいようにする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	2 学年	
教科等名	外国語	グループ名	2 類型 A	
ねらい	(1) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、外国語に親しみながら、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。 (2) 身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
担当教員	○中熊 康生			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	CD 付き英語カード食べ物編 (くもん出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	挨拶 自分の名前	4	○外国語で自己紹介をしよう ◆自分の名前や好きなことを英語で表現することができる。 □イラストカードや表現文等を選択肢で提示する。 ○自分の名前 ◆英語で書かれた自分の名前を、いくつかの選択肢の中から選ぶことができる。 □タブレット端末や絵カードなどの視覚支援できる教材を提示し、生徒のイメージをもちやすくする。	
6 7	英語で表現 しよう①	4	○英語で挨拶をしよう ◆英語での簡単な挨拶をすることができる。 ◆日付、曜日、天気、気持ち等の英語表現をすることができる。 □日付の言い方、曜日、天気、気持ちを表す英語表現を覚えられるよう、イラストカードや表現文を選択肢で提示する。	
9	英語で表現 しよう②	4	○日常生活に関する単語や簡単な文法を知ろう ◆食べ物、色、数など身近な英単語 ◆学習した英単語や表現を用いて、相手に要求したり、道を案内したりする。 □フレーズカードを用いて表現しやすくする。	
10 11 12	外国の文化	9	○外国の文化を知ろう ◆世界の伝統的な食べ物や衣装など □献立表や ICT 機器を用いて提示する。	
1	英語で質問しよう	3	○身近な英語を表現しよう ◆簡単な英語の表現 (生活に関する質問、ロールプレイ) に興味をもって学習することができる。 □色や食べ物など、身近なものの個数や色など、質問しやすい項目を設定する。	

2 3	買い物	5	<p>○買い物場面の単語・表現</p> <p>◆買い物で使う単語や表現を理解して、実際に買い物の場面を想定して使用する。</p> <p>□具体物を使用して、興味・関心を引き出したり、視覚的に分かりやすいようにしたりする。</p>	
通 年	アルファベット 英語の歌	6	<p>○アルファベットの復習</p> <p>◆アルファベットの大文字小文字の表記や音読をすることができる。</p> <p>□なぞり書きや、読みのルビを付けて取り組みやすくする。</p> <p>○英語の歌</p> <p>◆馴染みのある映像や音楽を英語で聞き、興味をもつ。</p> <p>□生徒になじみ深いものや興味・関心を引き出せそうな教材を準備する。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	2 学年
教科等名	外国語	グループ名	2 類型 B C
ねらい	(1)音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、外国語に親しみながら、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。 (2)身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 (3)外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		
担当教員	○松田豊貴 ○室屋めぐみ		
年間授業時数	35 単位時間		
使用教科書	C D 付き英語カード食べ物編 (くもん出版)		
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫 備考
4 5	挨拶 自分の名前	4	○外国語で自己紹介をしよう ◆自分の名前や好きなことを英語で表現することができる。 □イラストカードや表現文等を選択肢で提示する。 ○自分の名前 ◆英語で書かれた自分の名前を、いくつかの選択肢の中から選ぶことができる。 □タブレット端末や絵カードなどの視覚支援できる教材を提示し、生徒のイメージをもちやすくする。
6 7	英語で表現 しよう①	4	○英語で挨拶をしよう ◆英語での簡単な挨拶をすることができる。 ◆日付、曜日、天気、気持ち等の英語表現をすることができる。 □日付の言い方、曜日、天気、気持ちを表す英語表現を覚えられるよう、イラストカードや表現文を選択肢で提示する。
9	英語で表現 しよう②	4	○日常生活に関する単語や簡単な文法を知ろう ◆食べ物、色、数など身近な英単語 ◆学習した英単語や表現を用いて、相手に要求したり、道を案内したりする。 □フレーズカードを用いて表現しやすくする。
10 11 12	外国の文化	9	○外国の文化を知ろう ◆世界の伝統的な食べ物や衣装など □献立表や ICT 機器を用いて提示する。
1	英語で質問 しよう	3	○身近な英語を表現しよう ◆簡単な英語の表現 (生活に関する質問、ロールプレイ) に興味をもって学習することができる。 □色や食べ物など、身近なものの個数や色など、質問しやすい項目を設定する。
2 3	買い物	5	○買い物場面の単語・表現 ◆買い物で使う単語や表現を理解して、実際に買い物の場面を想定して使用する。 □具体物を使用して、興味・関心を引き出したり、視覚的に分かりやすいようにしたりする。

通年	アルファベット 英語の歌	6	<p>○アルファベットの復習</p> <p>◆アルファベットの大文字小文字の表記や音読をすることができる。</p> <p>□なぞり書きや、読みのルビを付けて取り組みやすくする。</p> <p>○英語の歌</p> <p>◆馴染みのある映像や音楽を英語で聞き、興味をもつ。</p> <p>□生徒になじみ深いものや興味・関心を引き出せそうな教材を準備する。</p>	
----	---------------------	---	---	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第2学年
教科等名	特別活動		グループ名	2類型
ねらい	(1)係活動などを通じて、取り組むために必要となることを理解する。 (2)自分の意見を発したり、必要なことを話し合ったりすることを通じて、コミュニケーション力を高めるとともに、意思決定できるようになる。 (3)周囲の友達と協力して取り組むことで、主体的、協働的な態度を身に付ける。			
担当教員	第2学年教員			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	話し合い 友達を知ろう 係活動	7	○1学期の目標や係決め ○掲示物の作成 ◆協力して制作活動などに取り組むことができる。 ○係活動 ◆責任をもって、決められた内容を自発的に行うことができる。 □生徒の実態に応じて言葉掛けや支援方法を工夫する。	
6 7 9	清掃活動 学年集会をしよう 夏休みに向けて 移動教室に向けて	10	○教室等清掃 ◆学校や他者のために働く気持ちを育む。 ○学年集会の準備 ◆他者を尊重する気持ちを育む。 ◆1学期を振り返り自分の気持ちや意見を整理し発表することができる。 □ICT機器を活用し、興味関心がもてるよう工夫する。 ○2学期の目標や係決め ◆自発的に活動に参加する意欲をもって取り組む。 ○行事に向けた話し合い ◆話を聞き、活動内容や様々な役割があることを知る。 □集団行動を通して、人の気持ちを考えながら行動できるようにする。	
10 11 12	係活動 清掃活動 学年集会をしよう 冬休みに向けて	11	○係活動 ◆自分の役割に責任をもって、自発的に行うことができる。 ○教室等清掃 ◆学校や他者のために働く気持ちを育む。 ○学年集会の準備 ◆活動を通して、他者を尊重する気持ちを育む。 ◆2学期を振り返り自分の気持ちや意見を整理し、発表することができる。 □生徒の実態に応じて言葉掛けや支援方法を工夫する。	
1 2 3	話し合い 清掃活動 学年集会をしよう 3年生にむけて	7	○3学期の目標や係決め ◆自発的に活動に参加する意欲をもって取り組むことができる。 ○行事に向けた話し合い ◆話を聞き、活動内容や様々な役割があることを知る。 ○教室等清掃 ◆学校や他者のために働く気持ちを育む。 ○学年集会の準備 ◆他者を尊重する気持ちを育む。 ◆3学期を振り返り自分の気持ちや意見を整理し、発表することができる。 □自発的、能動的に活動に取り組めるよう促していく。 □ICT機器を積極的に活動の中に取り入れる。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第2学年
教科等名	日常生活の指導		グループ名	2類型
ねらい	(1) 集団の中での必要な生活習慣を身に付け、主体的に実践できる力を育む。 (2) 健康や身の衛生への必要性を理解し、健全な生活を送る力を育む。 (3) 自分の役割を通して、きまりやマナーを守り、集団の中で協力をしながら活動ができる力を養う。			
担当教員	○松田 豊貴、中居 桂、中村 薫、関口 由羅、家納 汀、秀島 直良			
年間授業時数	105 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	ルールやマナーを守ろうⅠ 〈挨拶を意識しよう〉 〈わかりやすい挨拶をしよう〉 〈朝の会、帰りの会〉 自分でできることは自分でやろう〈身だしなみや身辺整理をしよう〉	15	○友達を意識して挨拶をすること ○状況に応じた挨拶をすること ○適切な声の大きさを挨拶をすること ◆挨拶を意識して行う。 ◆相手に伝わるよう、主体的に日常の挨拶・意思表示ができる。 ◆教員や友達をはじめ、校内で出会った大人、来校者に対して、適切に挨拶ができる。 □生徒の実態によって、カードなどを活用し、分かりやすく支援をする。 ○身だしなみに関すること ○更衣と整理に関すること ◆更衣を自分で行うことができ、衣類等をきちんとたたんだり、所定の場所にしまったりして、衣服の管理が確実にできる。 ◆更衣をしながら、衣類をたたんだり、ハンガーにかけたりすることができる。 ◆時間を意識し、ルールを守って更衣を行うことができる。 □生徒の実態によって、カードなどを活用し、分かりやすく支援をする。	
6 7 9	ルールやマナーを守ろうⅡ 〈集団と役割を意識しよう〉 〈役割をやり遂げよう〉〈朝の会、帰りの会〉 自分でできることは自分でやろう〈身だしなみや身辺整理をしよう〉	30	○自分の役割を意識して活動すること ○クラスの友達と、協力して活動すること ◆自分の係を意識し、責任をもって行うことができる。 ◆活動が終わったら、教員に報告ができる。 ◆クラス全体の様子に日々関心をもち、率先して友達と関わろうとする。 ◆次の活動や予定を理解し、見通しをもって確実に活動することができる。 ◆友達同士、協力して行うことができる。 □生徒の実態によって、カードなどを活用し、分かりやすく支援をする。 ○身だしなみに関すること ○更衣と整理に関すること ◆更衣を自分で行うことができ、衣類等をきちんとたたんだり、所定の場所にしまったりなどして、衣服の管理が確実にできる。 ◆更衣をしながら、衣類をたたんだり、ハンガーにかけたりすることができる。 ◆時間を意識し、ルールを守って更衣を行うことができる。 □生徒の実態によって、カードなどを活用し、分かりやすく支援をする。	

<p>10 11 12</p>	<p>ルールやマナーを守ろうⅢ 〈時間を守ろう〉 〈自分の順番を守ろう〉 〈安全を意識しよう〉 〈朝の会、帰りの会〉 自分でできることは自分でやろう 〈身だしなみや身辺整理をしよう〉 〈自分のものは自分で管理しよう〉</p>	<p>30</p>	<p>○時間を意識して活動すること ○時間を守って活動すること ◆時系列がわかり、主体的に時間を意識しながら一日の活動全般に見通しをもって行動することができる。 ◆授業準備ができる。 ◆環境を整えて集合ができる。 □生徒の実態によって、カードなどを活用し、分かりやすく支援をする。 ○自分の順番を守って活動すること ○安全な移動に関すること ◆右側通行を守って移動ができる。 ◆列を意識して移動ができる。 □具体的な場面で指導していく。 ○身だしなみに関すること ○更衣と整理に関すること ◆更衣を自分で行うことができ、衣類等をきちんとたたんだり、所定の場所にしまったりなどして、衣服の管理が確実にできる。 ◆更衣をしながら、衣類をたたんだり、ハンガーにかけたりすることができる。 ◆時間を意識し、ルールを守って更衣を行うことができる。 □生徒の実態によって、カードなどを活用し、分かりやすく支援をする。 ○持ち物に関すること ○自分の荷物を所定の場所に置くこと ○自分の持ち物を適切に管理すること ○整理整頓に関すること ○プリント類の整理に関すること ◆自分の持ち物がわかり、自分で管理できる。 ◆持ってきたプリント等提出物を教員に自分から提出することができる。 ◆自分の荷物を自ら整理し、きれいに保管したり整頓したりすることができる。 ◆机の中やロッカー等の整理・保管に関して意識し、主体的に整理整頓ができるようになる。 □生徒の実態によって、カードなどを活用し、分かりやすく支援をする。</p>	
<p>1 2 3</p>	<p>集団の中で協力しよう 〈他者を意識しよう〉 〈一緒に活動しよう〉 〈朝の会、帰りの会〉 自分でできることは自分でやろう 〈身だしなみや身辺整理をしよう〉 〈自分のものは自分で管理しよう〉</p>	<p>30</p>	<p>○友達を意識して活動すること ○友達同士で協力をして活動すること ◆友達を意識して活動ができる。 ◆友達のペースにあわせて活動することができる。 ◆友達や周囲の人の気持ちを考えて行動ができる。 □具体的な場面で指導していく。 ○身だしなみに関すること ○更衣と整理に関すること ◆更衣を自分で行うことができ、衣類等をきちんとたたんだり、所定の場所にしまったりするなどして、衣服の管理が確実にできる。 ◆更衣をしながら、衣類をたたんだり、ハンガーにかけたりすることができる。 ◆時間を意識し、ルールを守って更衣を行うことができる。 □生徒の実態によって、カードなどを活用し、分かりやすく支援をする。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第2学年
教科等名	生活単元学習		グループ名	2類型
ねらい	(1)生活に密着した様々な体験活動を通し、興味や関心の幅を広げ、実生活の場で活用していける基礎的な力を身に付ける。 (2)主体的・共同的に取り組むことができる意欲や態度を育成する。 (3)各行事や季節に関に関わる活動を取り入れて経験の幅を広げ、日常とは異なった活動でも見通しをもって活動に取り組むことができる。			
担当教員	○松田 豊貴、中居 桂、中村 薫、関口 由羅、家納 汀、秀島 直良			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4	2年生の環境に慣れよう	2	○2年次の生活と1年間の目標 ○集団行動のルール確認 ◆学級や学年の集団生活において、学校生活の流れを確認し、友達との交友や共に活動することなどが分かる。 ◆社会生活に必要ないろいろなルールやマナーがあることを知り、それらを守ることを知る。 □1年生の経験に基づき、具体例を挙げながら説明する。 □視覚支援を行い、分かりやすくする。	
	メッセージカードを作ろう	1	○離任された先生方へのメッセージカード書き ◆感謝の気持ちを言葉や絵などで表現する。 □生徒一人一人が表現できる術を用意する。	
5 6 7	交通安全について	1	○交通ルールの確認、安全な登下校方法 ◆交通ルールを確認する。安全に移動できているか振り返る。 □具体的な交通ルールを示す。 □モデルケースを提示してイメージをもちやすくする。	
	校外を安全に歩こう	1	○集団歩行や交通ルールの理解 ◆ルールを守って、友達と協力して安全に活動する。 ◆時間やルール、マナー等、集団を意識する。 □ルールやマナーを事前に確認する。	
	1学期のまとめ	1	○1学期の振り返りと夏休みの生活について ◆1学期に努力したことを振り返り、自己達成感を得る。 ◆健康管理や余暇の有効な過ごし方を知る。 □具体例を示しながら説明する。 □ワークシートを活用する。	
9	2学期について知ろう	1	○2学期の予定、2学期個人目標の設定 ◆2学期の活動に見通しをもつ。 ◆2学期の個人目標を立て、具体的な方策を考える。 □視覚的な教材を用意する。ワークシートを活用する。	
	選挙に参加しよう	1	○生徒会選挙や選挙の仕組みについて ◆生徒会選挙に参加し、自己選択をして投票する。 □個別に応じて、投票用紙等を準備する。	
	防災について学ぼう	1	○防災について学ぶ。 ◆具体的な避難方法や日常の防災について知る。 □ICT機器等を利用して視覚的に分かりやすくする。 □具体的に活動することでイメージがもてるようにする。	

10 11 12	セーフティ教室に向けて (情報リテラシー)	3	○全校セーフティ教室 ◆防犯対策について理解を深める。SNSトラブルについて知る。 □具体例を挙げ、イメージを持ちやすくする。	
	人の役に立とう (ボランティアマインド)	2	○奉仕活動 ◆地域のゴミ拾い等を行い、地域の役に立つ経験を積む。 ◆協働して物事を成し遂げる良さを知る。 □役割分担をして自分の役割を明確化することで、協働の意識を高められるように支援する。	
	2学期のまとめ	1	○2学期の振り返りと冬休みの生活について ◆2学期に努力したことを振り返り、自己達成感を得る。 ◆健康管理や余暇の有効な過ごし方を知る。 □具体例を示しながら説明する。ワークシートを活用する。	
1 2 3	3学期について知ろう	1	○3学期の予定、3学期個人目標の設定 ◆3学期の活動に見通しをもつ。 ◆3学期の個人目標を立て、具体的な方策を考える。 □視覚的な教材を用意する。ワークシートを活用する。	
	余暇活動について知ろう	2	○余暇の過ごし方について ○余暇的活動の体験 ◆余暇の過ごし方について考える。 ◆自分のやりたいことを考える。 □先輩の話など具体例を挙げながら、自分のやりたいことを考えられるように支援する。	
	1年間のまとめ	2	○1年間の振り返り、3年生の予定 ◆2年生の学校生活を振り返り、努力したことや3年生に向けての課題を意識する。 ◆3年生での生活に見通しをもつ。 □具体例を示しながら説明する。ワークシートを活用する。	
通 年	現場実習について	2	○現場実習の事前事後学習(各学期) ◆現場実習日誌を作成したり、壮行会に参加したりすることで、現場実習への意欲を高める。 ◆現場実習での良かった点や課題を振り返り、まとめる。お礼状を書き、先方に感謝の意を示す。 □実習日誌の記入する場所を分かりやすく提示する。 □社会人としてのルールやマナーを事前に確認する。	
	季節行事について (国際理解)	10	○季節行事(各学期) ◆季節に合った世界の行事を知ったり、楽しみながら、日本の四季に慣れ親しんだりする。 □生徒が興味・関心を広げられるような題材を取り扱う。	
	大掃除	3	○大掃除(各学期末) ◆使用した場所を協力してきれいにする。 □役割分担を明確にし、協力しあう環境を設定する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	総合的な探究の時間	グループ名	2類	
ねらい	(1) 季節や地域社会に関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識、技能を身に付け、個々の実生活に活用していく。 (2) 課題の解決に向けての仮説を立てたり、まとめたりすることを通じて表現力を身に付ける。 (3) 各行事や季節、地域社会についての体験を通じて、主体的、協働的に取り組む態度を身に付ける。			
担当教員	○中村 薫			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5 6	新クラス紹介	2	○新しいクラスでの自己紹介、学年集会 ◆新しいクラスで自己紹介しあうことでクラス、学年の交流を深める。 □自己紹介のテンプレートを用意する。交流が深まるように話し合い活動などを取り入れる。	
	校外学習について①(立川駅周辺)	3	○立川駅周辺について事前事後学習 ◆立川駅周辺にある施設や飲食店について学び、科学的探究心を育む。 □ICT 機器を利用して視覚的に分かりやすく提示する。	
	オリパラレガシーについて	3	○社会貢献活動 ◆地域への社会貢献活動を通して、ボランティアマインドを醸成する。 □自分たちのできる社会貢献について考え、実践させる。	
	羽村特別支援学校 50 周年について	2	○50 周年記念式典のポスター作製 ◆50 周年記念式典の開催をアピールするポスターを作製する。 □キャラクターやスローガンを用いてポスター作製を行う。	
7 9	移動教室について	4	○移動教室事前事後学習 ◆移動教室のねらい、行き先、活動内容等を知り、活動に見通しをもつことができる。 □十分に見通しがもてるように視覚的な教材を多用する。	
	SNSについて	2	○SNS ルール、Office365 の活用 ◆SNS ルールについて知る。Office365 を活用する。 □具体例を提示して分かりやすいように進行する。 □office365 の操作は進度によってグループ分けをする。	

	羽村特別支援学校 50 周年について	2	<p>○羽村特別支援学校 50 年の歩みについての調べ学習</p> <p>◆羽村特別支援学校 50 年の歴史を知る。</p> <p>□羽村特別支援学校の歴史に触れ、親しむ。</p>	
10 11 12	進路を考える ①	1	<p>○ビジネスマナー講座 外部講師</p> <p>◆学生と社会人の生活の違いを知り、進路を考える。</p> <p>□具体的な話を通じて、進路を自分のこととして考える機会とする。</p>	
	進路を考える ②	1	<p>○福祉サービスガイダンス</p> <p>◆卒業後に有用な社会資源を知る機会とする。</p> <p>□具体的な話を通じて、進路を自分のこととして考える機会とする。</p>	
	羽ばたき祭について	4	<p>○羽ばたき祭事前事後学習</p> <p>◆羽ばたき祭の作品展示や作業販売に向けて、必要なものを調べ、協力して準備する。</p> <p>□協力して活動できるように役割分担を行う。進行度合いが分かりやすいよう視覚的に支援する。</p>	
	学年レクリエーションについて	2	<p>○学年レクリエーションの計画・実行。</p> <p>◆様々な人が楽しめるレクリエーションについて調べ、役割を分担し、人との関わり方を学習する。</p> <p>□それぞれの生徒が活躍できる場を設定し、事故達成感が味わえるようにする。</p>	
1 2 3	校外学習について②（東京駅周辺）	3	<p>○東京駅周辺について事前事後学習</p> <p>◆東京駅の歴史と機能などを調べ、整理したものを発表する。</p> <p>◆当日の活動予定をクラスで協力して計画する。</p> <p>□ICT 機器を利用して視覚的に分かりやすく提示する。</p> <p>□地図等を活用して活動場所を視覚的に分かりやすくする。</p>	
	3 年生を送る会について	3	<p>○3 年生を送る会に向けて</p> <p>◆3 年生に感謝の気持ちを込め、仲間と協力して練習や準備を行うことができる。</p> <p>□協力して活動できるように役割分担を行う。進行度合いが分かりやすいよう視覚的に支援する。</p>	
	1 年間のまとめ	2	<p>○1 年間のまとめと進級について</p> <p>◆1 年間の行事や、授業で行った主な活動に関して振り返り、成果を発表したり、友達の発表を聞いたりして、3 年生に向けての展望をもつことができる。</p> <p>□生徒一人一人が自己達成感を味わえるような工夫をする。</p>	